

令和2年度 こどもの指導法「音楽表現」実技技能評価課題曲

	申込資格	配本テキスト名	実技技能評価課題曲
基礎 演習 I	<p>○配本テキスト「こどもと音楽表現」の下記の学習が修了していること</p> <p>①ピアノ 配本テキスト…P.2～P.41 (旧)配本テキスト…P.2～P.40</p> <p>②ソルフェージュ 配本テキスト…1番～31番 (旧)配本テキスト…1番～36番</p>	こどもと音楽表現	<p>① バイエルピアノ教則本 第60番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.22 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.35 (54番)</p> <p>② バイエルピアノ教則本 第90番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.38 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.32 (50番)</p>
		ソルフェージュ	<p>① 20番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.6 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.4 (17番)</p> <p>② 26番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.9 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.10</p>
基礎 演習 II	<p>○「基礎演習 I」を合格していること</p> <p>○配本テキスト「こどもと音楽表現」の下記の学習が修了していること</p> <p>①ピアノ 配本テキスト…P.42～P.65 (旧)配本テキスト…42～P.58</p> <p>②ソルフェージュ 配本テキスト…32番～64番 (旧)配本テキスト…37番～65番</p>	こどもと音楽表現	<p>① バイエルピアノ教則本 第103番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.52 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.54 (73番)</p> <p>② バイエルピアノ教則本 第104番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.57 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.55 (74番)</p>
		ソルフェージュ	<p>① 56番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.18 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.20 (58番)</p> <p>② 60番 配本テキスト「こどもと音楽表現」西野洋子著p.21 (旧)配本テキスト「こどもと音楽表現」原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著p.21 (63番)</p>
実践 演習	<p>○「基礎演習 I」及び「基礎演習 II」が合格していること</p>	弾き歌い	<p>① 思い出のアルバム(増子とし 作詞 / 本多鉄磨 作曲)</p> <p>② アイアイ(相田裕美 作詞 / 宇野誠一郎 作曲)</p> <p>③ ドレミの歌(ベギー葉山 日本語詞 / R.ロジャーズ 作曲)</p> <p>※使用する楽譜については諸注意 9 を参照。</p>
諸 注 意	<p>1 反復記号等は省略せずに、楽譜通りに演奏してください。</p> <p>2 実技技能評価時の楽譜の持ち込みは可能です。</p> <p>3 実技技能評価について</p> <p>○基礎演習 I と基礎演習 II では、上記の実技技能評価課題曲の中から、ピアノとソルフェージュについて、受講日当日に担当教員より1曲ずつ指定され、その楽曲の演奏により実技技能の評価がなされます。</p> <p>○実践演習については、実技技能評価課題曲として挙げられている3曲の弾き歌い楽曲の中から、受講日当日に担当教員より1曲が指定され、その楽曲の演奏により実技技能の評価がなされます。</p> <p>4 受講生は、実技技能評価課題曲の中より実技技能評価のための楽曲を選曲することはできません。(担当教員より指定された楽曲を拒否した場合は、受講放棄とみなされます。)</p> <p>5 各演習の同時受講は認められません。</p> <p>6 各演習の受講に際しては、別紙「学習進度状況記入票」を提示しなければなりません。</p> <p>7 基礎演習 I、基礎演習 II の実技技能評価は、ピアノとソルフェージュ双方の評価を総合判定し、「合格・不合格」の判定をします。【ピアノは「合格(または不合格)」で、ソルフェージュは「不合格(または合格)」というような個々の判定はしません】</p> <p>8 「不合格」となった場合は、再度スクーリングを受講し、「合格」しなければ次の演習へ進めません。</p> <p>9 弾き歌いで使用する楽譜は受講生自ら準備をし、受講日当日までに弾き歌いができるように練習しておいてください。以下、参考書籍を掲載します。(※掲載したもの以外の書籍でも構いません。)</p> <p>「たのしく遊べるこどものうた改訂版」 大山美和子 田中常雄 磯貝静江 茨木金吾共著 すずき出版 (ISBN: 9784790270416)</p> <p>「改訂幼児のための音楽教育」 神原雅之 鈴木恵津子編著 教育芸術社 (ISBN: 9784877888220)</p> <p>「年中使える！先生と園児のための こどものうた130+20」 森真奈美 秋山さやか 石井由希子 川田千春 渋谷絵梨香 鈴木奈美 横山潤子ピアノ編曲 ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス (ISBN: 9784636950090)</p> <p>「やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月」 河本芳子編曲 新星出版社 (ISBN: 9784405071391)</p> <p>「新版和音伴奏による幼児のうた100曲」 在原章子 菊本哲也 柳田憲一 山内悠子共著 全音楽譜出版社 (ISBN: 9784116200561)</p>		

令和2年度「こどもと音楽表現」実技技能評価及び単位認定試験課題曲

	申込資格	配本テキスト名	実技技能評価課題曲
第2 教程 (基礎 演習Ⅰ)	○配本テキスト「こどもと音楽表現」の第2教程まで、学習が修了していること	こどもと音楽表現	<p>(旧)配本テキスト:こどもと音楽表現 原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著</p> <p>① バイエルピアノ教則本 第88番 (配本テキストp.38 57と長調の練習曲)</p> <p>② バイエルピアノ教則本 第93番 (配本テキストp.37 56 8分の6拍子における短調の練習)</p> <p>(新)配本テキスト:こどもと音楽表現 西野洋子著</p> <p>① バイエルピアノ教則本 第88番 (配本テキストp.44)</p> <p>② バイエルピアノ教則本 第93番 (配本テキストp.42)</p> <p>(旧)配本テキスト:こどもと音楽表現 原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著</p> <p>① 27番 (配本テキストp.10)</p> <p>② 44番 付点音符の練習 (配本テキストp.14)</p> <p>(新)配本テキスト:こどもと音楽表現 西野洋子著</p> <p>① 27番 (配本テキストp.9)</p> <p>② 40番 付点音符の練習 (配本テキストp.12)</p>
第3 教程 (基礎 演習Ⅱ)	<p>○「基礎演習Ⅰ(第2教程)」を合格していること</p> <p>○配本テキスト「こどもと音楽表現」の第3教程まで、学習が修了していること</p>	こどもと音楽表現	<p>(旧)配本テキスト:こどもと音楽表現 原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著</p> <p>① バイエルピアノ教則本 第103番 (配本テキストp.54 73レガート練習曲)</p> <p>② バイエルピアノ教則本 第104番 (配本テキストp.55 74 練習曲)</p> <p>(新)配本テキスト:こどもと音楽表現 西野洋子著</p> <p>① バイエルピアノ教則本 第103番 (配本テキストp.52)</p> <p>② バイエルピアノ教則本 第104番 (配本テキストp.57)</p> <p>(旧)配本テキスト:こどもと音楽表現 原敏之、鎌田直美、黒北多恵子著</p> <p>① 53番 (配本テキストp.19)</p> <p>② 56番 (配本テキストp.19)</p> <p>(新)配本テキスト:こどもと音楽表現 西野洋子著</p> <p>① 53番 (配本テキストp.18)</p> <p>② 61番 (配本テキストp.21)</p>
諸 注 意	<p>1 反復記号等は省略せずに、楽譜通りに演奏してください。</p> <p>2 実技技能評価及び単位認定試験時の楽譜の持ち込みは可能です。</p> <p>3 実技技能評価及び単位認定試験について</p> <p>○基礎演習Ⅰ(第2教程)では実技技能評価として実施され、上記の実技技能評価課題曲の中から、ピアノとソルフェージュについて、受講日当日に担当教員より1曲ずつ指定され、その楽曲の演奏により実技技能の評価(合格・不合格)がなされます。</p> <p>○基礎演習Ⅱ(第3教程)では単位認定試験として実施され、上記の単位認定試験課題曲の中から、ピアノとソルフェージュについて、受講日当日に担当教員より1曲ずつ指定され、その楽曲の演奏により「こどもと音楽表現」の評価がなされます。</p> <p>4 受講生は、実技技能評価課題曲及び単位認定試験課題曲の中より評価のための楽曲を選曲することはできません。(担当教員より指定された楽曲を拒否した場合は、受講放棄とみなされます。)</p> <p>5 各演習(各教程)の同時受講は認められません。</p> <p>6 各演習(各教程)の受講に際しては、「学習進度状況記入票」(平成27年度以前の入学生はテキスト内ピアノ巻末、平成28年度以降入学生は別紙)を提示しなければなりません。</p> <p>7 基礎演習Ⅰ(第2教程)の実技技能評価は、ピアノとソルフェージュ双方の評価を総合判定し、「合格・不合格」の判定をします。(ピアノは「合格(または不合格)」で、ソルフェージュは「不合格(または合格)」というような個々の判定はしません)</p> <p>8 「不合格」となった場合は、再度スクーリングを受講し、「合格」しなければ次の演習(教程)へ進めません。</p>		